

## ルワンダ月報（2022年4月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

### 1. 内政・外政

- 1日、カガメ大統領がウッド財団のイアン・ウッド（Sir Ian Wood）理事長と面談。同財団は最近、5,000人の農家を擁し年間1,800万キロの茶を製造するムリンディ茶工場の大株主となっている。
- 2日、カガメ大統領がUNICEFのラッセル（Ms. Catherine Russell）事務局長と面談、UNICEFの実施中案件及び今後の展望等について協議。カガメ大統領夫人も前日（1日）に同事務局長と面談し、大統領夫人が設立したNGOであるインブト財団の最初のプロジェクトにおけるUNICEFとの連携等について意見交換を行った。
- 4日、カガメ大統領がザンビアを公式訪問。ヒチレマ（Hakainde Hichilema）ザンビア大統領との面談に続き、各種セクターにおいて二国間関係を強化するための覚書が署名される予定。
- 5日、東アフリカ共同体（EAC）がタンザニアでルワンダ大使館等と虐殺28周年を記念。
- 8日、カガメ大統領夫妻が虐殺28周年記念行事に参加。
- 9日、カガメ大統領がコンゴ共和国を公式訪問。サス・ンゲソ（Denis Sassou-N' Guesso）コンゴ大統領と面談し、農業、インフラ、中小企業及び手工業、文化及び芸術、貿易及び産業、鉱物及び地理、公民教育及び能力研修等に関する複数の合意文書に署名。
- 12日、カガメ大統領がジャマイカを初訪問。アレン（Sir Patrick Allen）ジャマイカ総督及びホルネス（Andrew Holness）首相が出迎え。
- 13日、キガリで第1回ルワンダ-アンゴラ合同委員会が開催。ビルタ外相及びアントニオ（Tete Antonio）アンゴラ外相が複数の覚書に署名。
- 14日、ルワンダと英国が移民・経済開発パートナーシップに合意。英国の1億2,000万ポンドの資金により、英国からルワンダに移送される移民及びルワンダ人向けに、中高等教育、職業訓練、語学研修等の各種プログラムが実施されるほか、環境政策、女子教育、コロナからの復興、貿易促進、人的資本等の優先分野にも投資される。
- 14日、移民・経済開発パートナーシップ合意のためにルワンダ訪問中のパテル（Ms. Priti Patel）英国内務大臣が、ジェノサイド記念館を訪問。
- 15日、ルワンダと英国の移民・経済開発パートナーシップ合意に関し、UNHCRが英国による亡命希望者及び難民の第三国への移送に強く反対する声明を発表。
- 16日、カガメ大統領がバルバドスを公式訪問。ジェローム・ウォルコット（Jerome Xavier Walcott）バルバドス外務大臣らが出迎え。メイソン（Sandra Mason）バルバドス大統領と面談。
- 18日、カガメ大統領がセネガルを公式訪問、サル（Macky Sall）セネガル大統領と面

談。

- 18日、ルワンダ民主緑の党が、英国によるルワンダへの移民移送に反対。
- 21日、ルワンダ西部の鉱山の中国人責任者が、ルワンダ人労働者2名を虐待した罪で20年の禁固刑。在ルワンダ中国大使館は宣告について「テイクノートした」とする声明を発表。被告は罪を認めたとうえで、労働者が鉱物を継続的に盗むのに嫌気がさしていたと述べた。(The New Times)
- 22日、カガメ大統領がキバキ (Mwaki Kibaki) ケニア前大統領の死去に追悼の意を表明。
- 23日、ルワンダ政府が、職探しのためルワンダ国内に不法滞在していたブルンジ人17人をキルンド県に引き渡し。
- 25日、カガメ大統領がマクロン仏大統領の再選に祝辞。
- 25日、英国とルワンダの移民・経済開発パートナーシップに関し、ダール (Omar Daair) 在ルワンダ英国大使がプレス・ブリーフィングで言及。同パートナーシップは、人身売買等で英国に移送されてきた人々の人権を尊重し、保護するため、ルワンダへの移送、滞在、法的サービスを英国が提供するものであり、移民には雇用の機会も開かれると説明。
- 27日、サス・ンゲソ (Denis Christel Sassou Nguesso) コンゴ共和国国際協力大臣がルワンダ訪問。ハビヤリマナ貿易・産業大臣、ビルタ外務大臣、アカマンジ・ルワンダ開発庁 (RDB) 総裁と面談。ハビヤリマナ貿易・産業相とは二国間貿易の発展やAfCFTAについて協議。ビルタ外相とは、今月上旬のカガメ大統領のコンゴ共和国訪問時に署名された覚書の実施状況や、地域情勢について協議。アカマンジ総裁とは、官民連携の発展やビジネス環境の改善について協議するとともに、数週間後にブラザビルで開催される官民連携フォーラムに同総裁を招待した。
- 28日、カガメ大統領がコンゴ共和国のサス・ンゲソ国際協力大臣及びインガニ (Ines Nefer Ingani) 女性の促進及び統合大臣と面談。
- 28日、ビルタ外相がUAEのシャキーフ・シャクブート・ビン・ナヤン・アル・ナヤナ (Sheikh Shakhboot Bin Nahyan Al Nahyan) 外務担当国務大臣と面談。二国間経済協力の促進について協議し、投資の促進及び保護、二重課税の回避等に関する合意に署名した。
- 29日、ルワンダが、今年5月3－6日にアフリカのCOMMONWEALTH加盟国による汚職対策関連機関の会議を主催。
- 29日、カガメ大統領がクワペ (Dr. Lemogang Kwape) ボツワナ外務国際協力大臣と面談。
- 30日、スコットランド (Patricia Scotland) コモンウェルス事務総長がルワンダ訪問。アフリカのCOMMONWEALTH加盟国による汚職対策関連機関会議のゲストスピーカーを務めるほか、ルワンダ政府高官との会談が予定されている。

## 2. 開発協力

- 1日、日本が、WFPによる難民に対する食料及び栄養支援に250万米ドルの支援を実施。今井大使は、難民キャンプにおける食料安全保障及び栄養の改善により、コロナに対するレジリエンスの強化にも繋がることを期待するとした。
- 1日、フランス開発庁（AFD）のリウ（Mr. Remy Rioux）総裁がカガメ大統領を表敬。同総裁のルワンダ訪問中に、AFDはルワンダ事務所を開設したほか、ルワンダ開発関係機関等と複数の合意に署名した。
- 15日、世銀グループの国際開発協会（IDA）が、商業化及びリスク回避による農業変革プロジェクト（CDAT）3億米ドルを支援。種苗セクターへの公共投資、灌漑システムの開発及び改修等、農業バリューチェーンにおける政府サービスへの支援や民間セクターのための環境整備を実施する。
- 19日、水衛生公社（WASAC）がシンガポール公益事業庁（PUB）と覚書に署名。両機関による連携、技術革新促進、水供給管理に関する能力強化及び知見交換を行う目的。
- 27日、国際NGOワールド・ビジョンの新しいルワンダ代表が就任、ビルタ外相に信任状奉呈。
- 29日、農業・食料システムに関する3年間で430万米ドルのプロジェクトがルワンダ、ブルンジ、コンゴ（民）で開始。28、29日にキガリで開催されたワークショップに、ルワンダ農業庁（RAB）、コンゴ（民）の国立農業研究機関（INERA）、ブルンジ農業経済科学機関（ISABU）が参加。

### **3. 経済**

- 8日、68カ国に展開するイタリアのエネルギー会社Eniが、ルワンダ政府と覚書に署名。使用済み油の回収、廃棄物管理・回収・リサイクル等の循環経済プロジェクトの実施実現性の評価や、バイオ原料生産、脱炭素化等の分野で協力を行う。

以上